

公開シンポジウム

「アクティブ・ラーニング教育実践の10年：愛知県立大学国際関係学科の挑戦」

2019年11月1日(金)14:30～16:15
文部科学省情報ひろば 1階 ラウンジ
公開開催、参加無料、申込不要

■趣旨

愛知県立大学外国語学部国際関係学科が発足して10年。世界と日本の多言語・多文化状況の中において、自ら能動的に調査し、発信し、社会還元することのできる人材の育成を目指して、様々なアクティブ・ラーニング教育の取り組みを行ってきました。

今回のシンポジウムでは、これまで本学科が取り組んできた多彩な教育実践を、「授業を立案し実践する教員の側」と「受講しつつ成果を生み出してきた学生の側」の両方の立場から報告し、これまでの教育実践の概要を紹介するとともに、その達成と展望について議論します。

大学におけるアクティブ・ラーニング、とりわけフィールドワークを中心とした教育のあり方に関心のある教職員、学生・生徒、教育関係者、一般市民の方がたのご来聴をお待ちしています。

■プログラム

14:30 開会

□主催者あいさつ(5分)

丸山真司(愛知県立大学副学長／周年記念事業実行委員会委員長)

□趣旨説明(5分)

亀井伸孝(愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授)

□トピック1:プロジェクトを通じて学ぶ:「プロジェクト型演習」の実践と成果(25分)

東弘子(愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授)

宮原杏奈(愛知県立大学外国語学部国際関係学科学生／学生自主企画研究「学生によるマルチメディア広報の評価と実践」メンバー)

□トピック2:フィールドワークを通じて学ぶ:写真と映像を活用した実習の実践と成果(25分)

亀井伸孝(愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授)

星野佐和(愛知県立大学外国語学部国際関係学科卒業生／京都大学大学院人間・環境学
研究科大学院生)

□トピック3:課外活動を通じて学ぶ:学生主体の広報活動／学生自主企画研究／オープンキャンパス(25分)

多田隼人・飯間有紀子(愛知県立大学外国語学部国際関係学科学生／学生自主企画研究「学生によるマルチメディア広報の評価と実践」メンバー)

井上登喜・滝花音（愛知県立大学外国語学部国際関係学科学生／学生自主企画研究「在日ムスリム児童が抱える学校教育の課題」メンバー）

総合討論(20分)

16:15 閉会

登壇者・スタッフ記念撮影

司会：亀井伸孝

■会場スタッフ

- ・ 学生自主企画研究「学生によるマルチメディア広報の評価と実践」学生（1名）
- ・ 2019年度後期国際関係学科専門科目「プロジェクト型演習A：写真・映像による調査と表現」履修学生（12名）

■付記

- ・ 本シンポジウムは、愛知県立大学周年記念事業の一環として行われています。
- ・ 【関連企画】企画展示「フィールドワーク写真展：世界の〈いま〉を切り取る学生のまなざし」を開催しています。2019年9月2日（月）～12月19日（木）、情報ひろば3階企画展示室にて公開展示中。どなたでも無料で観覧できます。シンポジウムご参加とあわせて、こちらもお観覧ください。

■主催／共催／協力

主催： 愛知県立大学国際関係学科「フィールドワーク写真展」実行委員会／
愛知県立大学新大学誕生10周年・長久手移転20周年記念事業実行委員会

共催： 学生自主企画研究「学生によるマルチメディア広報の評価と実践」／
愛知県立大学地域連携センター／
2019年度「プロジェクト型演習A」

協力： 学生自主企画研究「在日ムスリム児童が抱える学校教育の課題」／
愛知県立大学国際関係学科／
愛知県立大学多文化共生研究所

■連絡先

愛知県立大学戦略企画・広報室

Tel: 0561-76-8636

E-mail: kouhou@puc.aichi-pu.ac.jp

■公開シンポジウムウェブページ

http://kamei.aacore.jp/joho-hiroba_symposium20191101-j.html

【沿革】愛知県立大学外国語学部国際関係学科の10年

2009年4月：新設の国際関係学科が発足（学科定員40名）。第1期生42名が入学。12名の専任教員で発足した。

2013年3月：初の卒業生21名を送り出す。学科完成。

2014年4月：国際関係学科が拡充（学科定員40名から55名へ）、2014年度からの新カリキュラム導入。第6期生57名が入学。

2018年11月：学科設立10周年記念パーティを開催。

2019年4月：学科設立満10年を迎える。第11期生61名が入学（学科定員55名）。15名の専任教員をもつ学科となる。

2019年9-12月：学科設立10周年を記念する企画展示「フィールドワーク写真展」と公開シンポジウムを文部科学省情報ひろばで開催。

【資料】

本学科の教育実践について、以下の文献でご覧いただけます。

★東弘子・亀井伸孝. 2013. 「フィールドワークを活用したアカデミックスキルの教育: 国際関係学科「基礎演習 I」における取組み」『愛知県立大学外国語学部紀要: 地域研究・国際学編』(愛知県立大学外国語学部) 45: 245-258.

★亀井伸孝. 2015. 「愛知県立大学におけるフィールドワーク教育実践報告: 「学生のための映像制作ワークショップ」3カ年の取組み(2012-2014)」『共生の文化研究』(愛知県立大学多文化共生研究所) 9: 113-126.

亀井伸孝. 2017. 「フィールドワークにおける視覚的表現の活用: 社会調査実習の成果と近未来の課題」松尾浩一郎編. 特集「調査と表現: 伝えるための戦略」『社会と調査』(編集・発行: 一般社団法人社会調査協会; 制作・販売: 京都: 京都通信社) 19: 23-34.

★亀井伸孝・宮谷敦美・東弘子・高阪香津美・松林康博・草野昭一. 2019. 「愛知県立大学国際関係学科「プロジェクト型演習」実践報告: 2015～2017年度の3か年の取組み事例」『愛知県立大学外国語学部紀要: 地域研究・国際学編』(愛知県立大学外国語学部) 51: 173-199.

河合塾編. 2016. 『大学のアクティブラーニング』東京: 東信堂.

★の文献は、愛知県立大学リポジトリ (<https://aichi-pu.repo.nii.ac.jp/>) を通じ、ウェブ上で無料で閲覧していただけます。